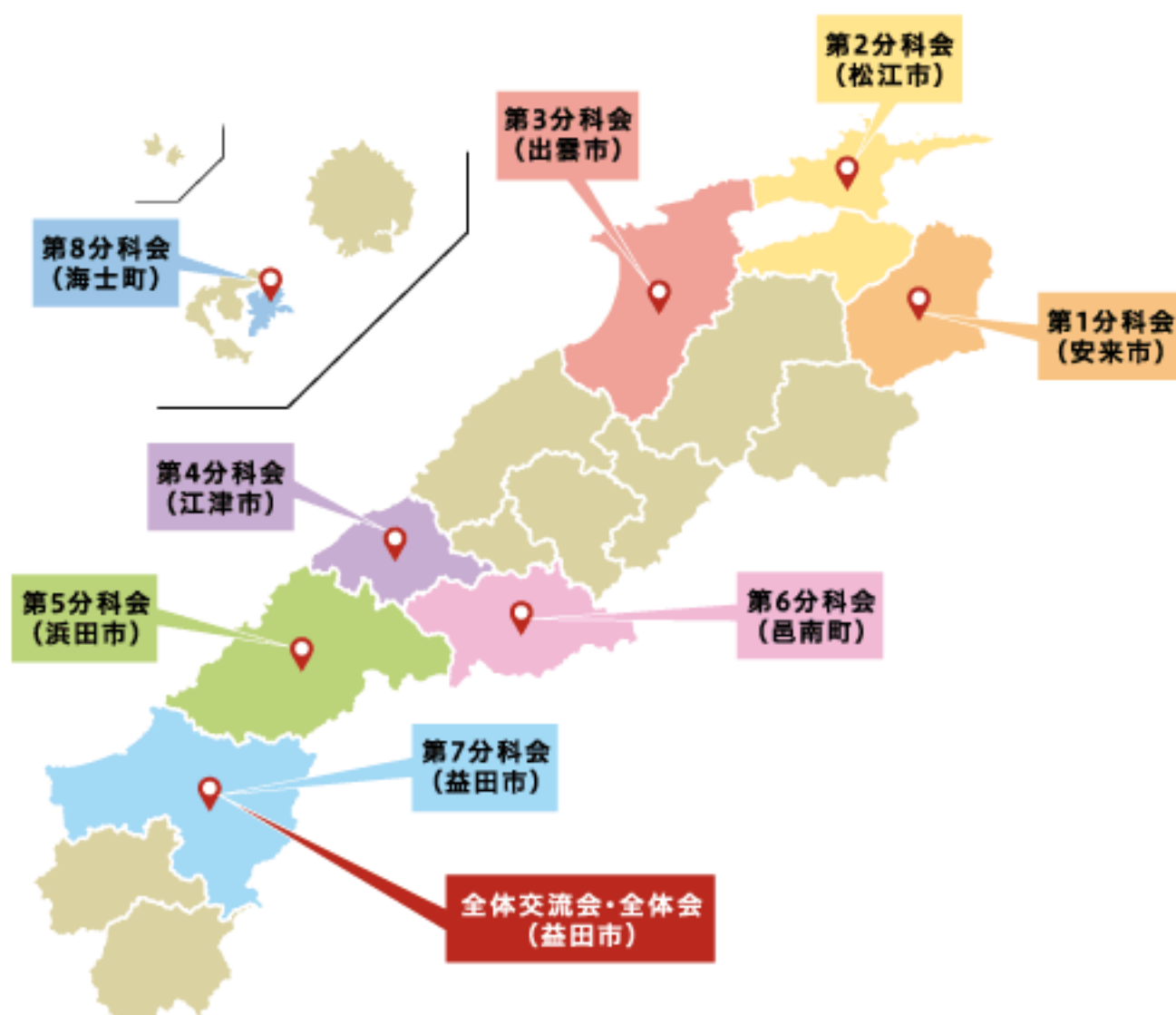


分科会一覧

ページ	分科会(会場)	テーマ	募集人員
P 9	第1分科会 (安来市)	地域を愛し行動し誇りに思えるまちづくり 今日も明日も10年後もずっとえ〜ひだ(比田)	20人
P 10	第2分科会 (松江市)	市民が主役!! 松江の文化力を生かしたまちづくり	20人
P 11	第3分科会 (出雲市)	出雲神話と島根半島の大地の恵みを感じてみよう!	20人
P 12	第4分科会 (江津市)	攻めの定住施策(ビジネスプランコンテストによる人材誘致)	15人
P 13	第5分科会 (浜田市)	支えあう、いま・福のある里づくり	20人
P 14	第6分科会 (邑南町)	関係人口との協働による江の川鐵道と新たな地域づくり	20人
P 15	第7分科会 (益田市)	「ひとが育ち輝くまち益田」から全国へ	20人
P 16	第8分科会 (海士町)	離島にもっと若者の還流を	20人



安来市

- 分科会会場
比田いきいき交流館、勤労体育センター
- 宿泊場所
亀嵩温泉玉峰山荘
- 募集人数
20人
- 参加者経費
19,010円
[内訳]
分科会交流会費(7,000円)
宿泊費(朝食付)(10,010円)
2日目昼食代等(2,000円)

地域を愛し行動し誇りに思えるまちづくり 今日も明日も10年後もずっとえ〜ひだ(比田)

●分科会内容

このまま何もしなければ集落はおろか地域の存続すら危ぶまれる中、地域の若手を中心に立ち上げたのが「え〜ひだカンパニー」です。地域おこし協力隊をはじめ地域外からの若者を受け入れて、一緒にチャレンジしながら成長しています。

本分科会では、どじょうすくい踊りで有名な安来ならではの、田んぼで本物のどじょうすくい体験や、直売所の見学を行います。また、自立した地域づくりを目指す団体の取組に触れて頂くとともに、他の地域の皆さんから地域づくりのヒントをいただきながら学び合う時間にできればと考えています。

●地域づくり団体の紹介【え〜ひだカンパニー株式会社】

「今日も、明日も、10年後もずっとえ〜ひだ(比田)」を合言葉に持続可能な地域づくりを行う株式会社です。88の戦略プランにより収益事業では、農業生産(お米、小麦、そば、野菜など)、農産物直売所、パン製造などを、地域貢献事業では、定住、子育て、教育、観光、福祉のサポートなど様々な事業を行っています。



コーディネーター
渡邊 志朗さん

●みどころ



88の戦略プランからなる地域ビジョンの達成を目指し活動しています。

お問い合わせ先

え〜ひだカンパニー株式会社

担当:田邊 TEL:0854-26-4010 E-mail:info@e-hida.co.jp



HPはここ

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金) 【終日バス移動】

- 13:00 安来駅集合
- 13:50 オリエンテーション
(比田いきいき交流館)
- 14:45 どじょうすくい体験(ほ場)
- 15:30 え〜ひだ市場見学
- 16:00 意見交換(勤労体育センター)
- 18:00 分科会交流会(井々)
比田の食でおもてなし
- 21:00 宿泊先へ移動

2日目 11月11日(土) 【終日バス移動】

- 9:00 宿泊先出発
- 9:15 歓迎比田太鼓(勤労体育センター)
え〜ひだ活動紹介、意見交換
- 11:40 え〜ひだ市場見学
- 12:40 昼食
- 13:30 全体交流会へ移動
- 15:01 JR安来駅から特急スーパーおき乗車
- 18:00 全体交流会開始



地域をもっと面白く！
まちのわくわくをつくる仲間たち

市民が主役!! 松江の文化力を生かしたまちづくり

●分科会内容

2021年、松江市は「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」を制定しました。市民の誇りである「豊富な文化財」「伝統文化」「茶の湯文化」「生活文化」「市民とともに育む文化芸術活動」「拠点となる文化施設」「松江的景観」を松江の文化力を支える7つの柱と位置づけ、その魅力の活用と継承に官民を挙げて取り組んでいます。

第2分科会では、松江の文化をめぐる謎解きゲームや、各分野で熱心に取り組まれている市民活動の体験を通して、文化力で地域を盛り上げている人々とその活動に触れていただくプログラムを企画しました。

●地域づくり団体の紹介【松江NPOネットワーク】

松江市を中心に社会貢献活動を行う団体や個人をネットワークする中間支援組織です。NPO活動の活性化と地域の発展に寄与することを目的に活動しています。情報提供、各種勉強会の開催、個別支援などを行うほか、NPOや行政、企業などが協働し、より暮らしやすい地域となるための仕組み作りや提案に力を入れています。



●みどころ



宍道湖・中海・日本海に抱かれ、街なかをお堀がめぐる「水の都」です。

お問い合わせ先

松江NPOネットワーク

担当: 竹田 TEL: 090-9738-1792 E-mail: matsuenpo.net@gmail.com



HPはこちら

第2分科会

松江市

●分科会会場

松江ニューアーバンホテル緑雲 enun
国宝松江城、ごうぎんカラコロ美術館 等

●宿泊場所

松江ニューアーバンホテル

●募集人数

20人

●参加者経費

16,600円

〔内訳〕

分科会交流会費(5,000円)

宿泊費(朝食付)(9,800円)

2日目昼食代(1,800円)

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金) 【終日徒歩移動】

- 12:30 受付開始
(松江ニューアーバンホテル緑雲enun)
- 13:00 実践者とのクロストーク！
・ノヴィープロジェクト
・不昧公とお茶文化
・音楽のまちプロジェクト
・子どもアートDay
- 15:00 宿泊先チェックイン
- 16:00 歴史ある街を歩きながら
「謎解き」に挑戦！
- 18:00 交流会 ジャズと地酒の夕べ

2日目 11月11日(土) 【徒歩・遊覧船移動】

- 9:10 集合(松江城大手前馬場)
- 9:30 松江の市民文化体験
不昧流お茶席/国宝松江城天守
音楽のまちプロジェクト/琴(どう)
- 12:10 昼食(堀川遊覧船)
ふれあい広場東船場→大手前広場東船場
- 13:30 ノヴィーコンサート
(ごうぎんカラコロ美術館)
- 14:00 全体交流会へバス移動
- 18:00 全体交流会開始

出雲市

- 分科会会場
出雲ロイヤルホテル
- 宿泊場所
出雲ロイヤルホテル
- 募集人数
20人
- 参加者経費
17,963円
【内訳】
分科会交流会費(6,900円)
宿泊費(朝食付)(9,563円)
2日目昼食代等(1,500円)

出雲神話と島根半島の大地の恵みを感じてみよう！

●分科会内容

2017年に日本ジオパークに認定された島根半島・宍道湖中海ジオパークは、東西約65kmの長い島根半島をはじめラムサール条約登録湿地に指定されている宍道湖・中海、そして出雲南部エリアにある立久恵峡や沖積平野でもある出雲平野などの地質をはじめ生物生態系に恵まれ、神話が根付くジオパークです。

本分科会では、島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力や地域の歴史・文化に触れていただくとともに、地域資源の活用・保全活動などに理解を深めていただくことで、ジオパークを通じた地域活性化の取組を全国に発信したいと考えています。

●地域づくり団体の紹介【出雲国ジオガイドの会】

2020年4月に島根半島・宍道湖中海ジオパーク認定ガイドにより設立した団体です(現在60名)。主に島根半島を中心に、大陸分裂から日本海拡大の過程で形成された変化に富んだ地形や奇岩のガイドやトレッキングガイド、浦々を巡る四十二浦巡りの旅ガイドを行っています。また、宍道湖・中海の保全活動にも取り組んでいます。



コーディネーター
渡邊 一枝さん

●みどころ



島根半島日本海沖合水深5mから海水を汲み上げ濃縮された天然塩です。

お問い合わせ先

出雲国ジオガイドの会

担当:渡邊 TEL:090-7133-2610 E-mail:kazue4122@gmail.com



HPはこちら

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金)
【終日バス移動】

- 13:00 出雲市駅集合
- 14:00 日御碕ジオガイド
- 15:30 鷗鷺げんきな会の活動報告・藻塩作り体験
- 18:00 宿泊先(出雲ロイヤルホテル)
- 18:30 分科会交流会
オープニング(大土地神楽)

2日目 11月11日(土)
【終日バス移動】

- 9:00 宿泊先出発
- 9:30 出雲大社参拝
- 10:30 神門通り自由散策
- 11:40 島根ワイナリー(昼食)
- 12:40 全体交流会へ移動
(バス移動中、神話ガイド)
- 18:00 全体交流会開始

江津市

- 分科会会場
江津ひと・まちプラザ パレットごうつ
- 宿泊場所
有福温泉の旅館
- 募集人数
15人
- 参加者経費
19,000円
[内訳]
分科会交流会費(5,000円)
宿泊費(朝食付)(12,000円)
2日目昼食代(2,000円)

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金)
【終日バス移動】

- 13:00 江津駅集合
- 13:30 江津市ビジネスプランコンテスト(Go-Con)の概要説明
- 15:00 過去のGo-Con出場者で起業している方を訪問(事業説明など)
- 17:00 宿泊地である有福温泉へ
- 18:00 再生中の有福温泉を中心とした語り場交流会

2日目 11月11日(土)
【終日バス移動】

- 9:30 宿泊地出発
- 10:00 過去のGo-Con出場者で起業している方を訪問(事業説明など)
- 12:00 昼食(風のえんがわ)
- 13:00 グループワーク(総括)
- 15:00 全体交流会へ移動
- 18:00 全体交流会開始

攻めの定住施策
(ビジネスプランコンテストによる人材誘致)

●分科会内容

人口減少の過疎地域においては、合理性に偏重した、地域に根ざさない企業誘致による経済効果より、人材誘致・発掘にフォーカスした施策が必要だと考えました。

江津市ビジネスプランコンテスト(Go-Con)は、江津にもともとある価値を地域に想いをもった小商いに変換できる人を呼び込み、発掘することで、未来に向けて革新するチカラとそれを応援する風土を根付かせて「創造力カルチャー」をつくることを目的としたものです。

このビジネスプランコンテストによる「まちづくり」の考え方と、これまでの実績を参加される皆さんに是非お伝えしたいと考えています。

●地域づくり団体の紹介【NPO法人てごねっと石見】

NPO法人「てごねっと石見」は江津市が目指す創造力特区

「みんなの「やりたい!」「なりたい!」があふれだし、「いいじゃん!」「やってみよう!」が飛び交って、わたし・あなたらしさがかなうまち」

になるように、子供からお年寄りまでのチャレンジを事業を通じて行っています。



コーディネーター

藤田 貴子さん

●みどころ



1370年前からコンコンと溢れる美肌の湯「有福温泉」。現在、温泉街を一つのホテルに見立てて、宿泊・飲食・温泉・体験等に分離した「温泉地まるごとホテル構想」に取り組んでいます。

お問い合わせ先

NPO法人てごねっと石見

担当:藤田 TEL:0855-52-7130 E-mail:info@tegonet.net



HPはコチラ

浜田市

- 分科会会場
今福まちづくりセンター
- 宿泊場所
金城観光ホテル
- 募集人数
20人
- 参加者経費
17,300円
【内訳】
分科会交流会費(7,800円)
宿泊費(朝食付)(8,000円)
2日目昼食代等(1,500円)

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金)
【終日バス移動】

- 13:00 浜田駅集合
- 13:30 活動概要説明、意見交換
(今福まちづくりセンター)
おもてなし…茶楽の会・ゆるり
- 16:30 宿泊チェックイン(金城観光ホテル)
- 18:30 分科会交流会(金城観光ホテル)
- 20:30 いまふく笑舞会・今福神社社中
夜なべ談義(金城観光ホテル)

2日目 11月11日(土)
【終日バス移動】

- 9:30 宿舎先出発【終日バス移動】
- 10:00 ライディングパーク体験
- 11:00 広浜鉄道今福線遺構見学
- 12:30 昼食(ゆうひパーク浜田)
- 14:30 全体交流会へ移動
- 18:00 全体交流会開始



支えあう、いま・福のある里づくり

●分科会内容

今福地区は、まちづくり委員会を中心に、自治課題を処理する今福自治振興会・高齢者の健康等を推進する福寿会・全体を統括する今福まちづくりセンター(旧公民館)が、四輪車のようにお互いが協力し、住民の自助・共助・公助を推し進めながら“安心で住みよいいまふく”“活力あるふる里 地域の絆や 心の豊かさを求めて”をスローガンに地域活動を展開しています。特に“もやい市”を核とした「地域資源活用」を行う“さつま亭・ぶどう栽培”「生活支援」の買物バスを運行する“今福もやいの会”など、地域課題解決に取り組んでいます。

●地域づくり団体の紹介【今福まちづくり委員会】

今福まちづくり委員会は、産業振興、課題解決、交流・健康・福祉、防災・防犯、交通・見守りの5部会を持ち、毎月開催する「もやい市」の運営、オンラインを使った安否確認把握等の自主防災訓練を行っています。また、もやい市開催日には「買物バス」を運行し、交通弱者対策にも取り組んでいます。

【平成23年7月発足 役員数31名】



コーディネーター
岩崎 敏さん

●みどころ



新線と旧線の交差部は、その遺構を同時に眺めることができる今福線一番のスポットです。

お問い合わせ先

今福まちづくり委員会

担当:岩崎 TEL:0855-42-2083 E-mail:imafuku-k@ph-hamada.jp

邑南町

- 分科会会場
宇都井駅公園ほか
- 宿泊場所
@mikke、うづい通信部、コイサイド
- 募集人数
20人
- 参加者経費
17,300円
[内訳]
分科会交流会費(5,700円)
宿泊費(朝食付)(7,050円)
2日目昼食代(1,650円)
広島-邑南町バス代(2,900円)

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金)

【終日バス移動】

- 12:00 広島駅集合(12:30発)
- 13:30 大朝IC合流
(浜田発バス13:34到着)
- 14:30 江の川鐵道活動概要説明
(阿須那公民館)
- 15:30 トロッコ乗車体験(宇都井駅公園)
- 18:00 分科会交流会
- 20:00 宿舎へ移動

2日目 11月11日(土)

【終日バス移動】

- 8:00 宿舎出発
- 8:30 朝食
- 9:00 活動紹介・意見交換
- 11:15 阿須那地区街並み散策
- 12:15 昼食
- 12:40 久喜銀山ガイド
- 14:10 道の駅瑞穂
- 14:40 全体交流会へ移動
- 18:00 全体交流会開始

関係人口との協働による江の川鐵道と新たな地域づくり

●分科会内容

島根県邑南町は中国山地の中にある町です。
中国山地は早いタイミングで過疎化が進んだ場所でもあり、それに対する試みも長く試され熟成されてきました。

関係人口(ボランティアスタッフ)との協働は、高齢化、人口減少が進む地域が出した1つの答えであり、それによって成り立つのが江の川鐵道です。

どのような思いで関係人口は地域と関わるのか、あるいはその課題はどこにあるのか。ご参加下さる皆さまとの議論を通して、我々は前に進みたい。

場所は違えど同様の課題に取り組む方々との繋がりが、各地域にとっても良いものになる事を期待しております。

●地域づくり団体の紹介【NPO法人江の川鐵道】

廃線となった旧三江線跡地(宇都井駅、口羽駅)を活用し、小さなトロッコを走らせる試みを行なっている団体です。

関わるスタッフはボランティア(関係人口)で、地域あるいは三江線に対する熱い思いを持っています。沢山のお客様に満足頂けるよう、トロッコ数の増や中間駅の活用を目指し、少しずつ前に進んでいます。



コーディネーター
日高 弘之さん

●みどころ



旧宇都井駅は地上20mの高さにホームがあり「天空の駅」と呼ばれていました。

お問い合わせ先

NPO法人江の川鐵道

担当:日高 TEL:090-3221-5040 E-mail:gonokawa20180515@gmail.com



HPはこちら

益田市

●分科会会場
グラントワ●宿泊場所
MASCOS HOTEL●募集人数
20人●参加者経費
19,980円
[内訳]

分科会交流会費(6,000円)

宿泊費(朝食付)(11,480円)

2日目昼食代等(2,500円)

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金)
【終日徒歩移動】

- 13:00 グラントワ集合
- 13:30 益田市取組み説明
- 14:00 豊川地区の取組み説明
- 15:00 全体質疑
- 15:15 グラントワ見学
- 18:00 分科会交流会・宿泊
(MASCOS HOTEL)

2日目 11月11日(土)
【終日バス移動】

- 9:00 宿泊先出発
- 9:10 豊川小学校にて交流・体験
- 11:00 フルーツガーデン見学
- 11:30 お試し住宅とよかわの家見学
- 12:00 昼食
- 13:00 歴史文化交流館
(日本遺産説明・館内見学)
- 14:00 日本遺産散策
- 16:00 全体交流会へ移動
- 18:00 全体交流会開始



「ひとが育ち輝くまち益田」から全国へ

●分科会内容

益田市は、あらゆる分野のひとづくりを施策の中心に据え、人口減少の中、未来の益田市を支える担い手育成、しごとの担い手育成、地域づくりの担い手育成、リーダー育成に取り組みながら、まちづくりに取り組んでいます。

本分科会では、子どもたちを育む活動を通して、自ら「楽しい」を作り出す豊川地区の地域自治組織の「ひとづくり」による「まちづくり」に触れていただくとともに、持続可能な地域づくりのあり方について議論できればと考えています。

ぜひ豊川の魅力を探りに来てください。お待ちしております！

●地域づくり団体の紹介【とよかわの未来をつくる会】

中心市街地に隣接した都市部と山間部を合わせ持つ地域に設立した地域自治組織です。

大人の学びの場「マスタヒとまちカレッジ」、小学生の学校外の学びの場「すたでいスペースとよかわ」、お試し住宅の運営に加え、遊休農地を活用したフルーツガーデンづくりなど、様々な世代が楽しく地域に関わることが出来る活動に取り組んでいます。



コーディネーター
山本 宏史さん

●みどころ



「楽しく」「子どもも大人も」
「自分たちで」をキーワード
にまちづくりを展開

お問い合わせ先

とよかわの未来をつくる会

担当: 岡崎 TEL: 0856-22-0205 E-mail: csc-toyokawa@city.masuda.lg.jp



HPはこちら

海士町

(西ノ島町、知夫村)

- 分科会会場
隠岐国学習センター、離島キッチンほか
- 宿泊場所
TADAYOIグランピング施設ほか
- 募集人数
20人
- 参加者経費
46,020円
[内訳]
分科会交流会費
(1日目2,000円、2日目4,000円)
宿泊費(15,000円×2泊)
昼食代(1,000円×3日)
七瀬港-菱浦港フェリー代(往復7,020円)
※全体交流会、全体会はオンラインテレビ会議
で参加です。経費には全体交流会費、大会参加
費、11/11宿泊費、11/12昼食代も含まれます。

分科会スケジュール

1日目 11月10日(金)

- (8:45 七瀬港集合)
- 9:30 フェリー出航
- 12:40 菱浦港(海士町)到着
- 12:50 昼食(船渡来流亭)
- 14:00 活動概要説明
- 15:00 海士町島内案内
- 17:30 宿泊先チェックイン
- 18:00 分科会交流会

2日目 11月11日(土)

- 9:00 菱浦港→来居港(知夫村)移動
- 9:40 知夫村案内
- 11:30 来居港→別府港(西ノ島町)移動
- 12:00 昼食
- 13:00 西ノ島案内
- 15:00 別府港→菱浦港 移動
- 15:30 意見交換会
- 18:00 全体交流会
(オンライン参加、離島キッチン)

3日目 11月12日(日)

- 8:00 休養プログラム
- 10:00 全体会(オンライン参加、Ento)
- 12:00 昼食
- 14:00 自由時間
- 14:50 菱浦港集合
- 15:00 フェリー乗船
(17:55七瀬港到着)

離島にもっと若者の還流を

●分科会内容

当地域は、島根県の沖合60kmにある隠岐諸島に位置し、3町村合わせて5,500人ほどの人口規模です。2000年代平成の大合併が進む中、3町村は合併をしない決断をし、それぞれ自立したまちづくりを目指して、産業振興や移住施策を行ってきました。

そんな中、時代の変化とともに、新たに生まれた考え方が「人の還流」と「滞在人口」です。自治体の壁を超え、同じ地域で協働していく環境づくりにも取り組んでいます。

本分科会では、これら取り組みの最前線に触れていただき、交流や対話を通じて、魅力あるまちづくりについて共に考えていきたいと思います。

●地域づくり団体の紹介【一般財団法人 島前ふるさと魅力化財団】

2008年より隠岐島前高校魅力化プロジェクトをスタートし、島留学や高校と連携した公立塾の設立等の教育事業を展開してきました。

開始から10年以上経ち、卒業生が還ってきたいと思える地域づくりを目指し、「大人の島留学」事業を開始しました。教育づくりと地域づくりという密接に交わる二つの事業を展開しながら、魅力的で持続可能な地域づくりに取り組んでいます。



コーディネーター

ロドリゲス 拓海さん

●みどころ



ユネスコ世界ジオパークである隠岐の自然はまさに圧巻!

お問い合わせ先

一般財団法人 島前ふるさと魅力化財団

担当:ロドリゲス TEL:08514-2-2447 E-mail:info@okidozen.jp



HPはこちら